年末年始のごみ収集

問 資源循環推進課廃棄物収集係（菖 内線359）

ごみ収集量の増加や道路渋滞により収集コースや収集時間が通常と異なります。**ごみは必ず朝８時30分までに**出してください。

また、１月はごみと資源の収集日が通常と異なる場合がありますので、家庭ごみ・資源物収集カレンダーをご確認ください。

	25（金）	26（土）	27（日）	28（月）	29（火）	30（水）～ 3（日）	4（月）
ごみ収集	○	×	×	○	※	×	○
清掃センターへの家庭ごみ持ち込み	○	×	×	×	×	×	×

※ 12 月 29 日㈫は、一部の地区で「燃やせるごみ」を収集します。対象地区は、家庭ごみ・資源物収集カレンダーをご確認ください。

○ごみの持ち込み先はお住まいの地区によって異なります。

地区	清掃センター	問合せ
久喜	久喜宮代清掃センター	☎34-2042
菖蒲	菖蒲清掃センター	☎85-7027
栗橋・鷲宮	八甫清掃センター	☎58-1309

○し尿・浄化槽清掃については、各家庭で契約している点検業者や一般廃棄物収集運搬業許可業者に直接ご確認ください。

受章おめでとうございます

令和８年秋の叙勲

旭日小綬章
大島　修一（おおしま　しゅういち）さん（保健衛生功労）

旭日単光章
矢島　隆（やじま　たかし）さん（地方自治功労）

瑞宝単光章
佐々木　明（ささき　あきら）さん（印刷業務功労）
横田　利夫（よこた　としお）さん（消防功労）

令和８年秋の褒章

藍綬褒章
藤井　ふく（ふじい）さん（更生保護功績）

第 47 回危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章
泉　弘（いずみ　ひろし）さん（警察功労）
磯部　孝之（いそべ　たかゆき）さん（消防功労）
齋藤　典孝（さいとう　のりたか）さん（警察功労）
渡部　眞一郎（わたなべ　しんいちろう）さん（警察功労）

瑞宝単光章
鴨田　政昭（かもだ　まさあき）さん（消防功労）
倉田　孝（くらた　たかし）さん（警察功労）
野口　浩（のぐち　ひろし）さん（防衛功労）
栁田　二郎（やなぎだ　じろう）さん（消防功労）

コンビニ交付サービスを一時休止します

問 市民課（総合窓口）市民・パスポート係（内線2662）

年末年始および住民記録システムの新システムへの移行に伴い、コンビニ交付サービスを休止します。

休止期間　12月29日㈫～１月18日㈰
再開予定　１月19日㈫ ６時30分

第 58 回シラコバト賞 受賞おめでとうございます

（カッコ内は推薦した各コミュニティ推進協議会の略称）

個人表彰
○健やかな心身を育てる活動
野口　洋子（のぐち　ようこ）さん（久喜コミ協）
島田　陽子（しまだ　ようこ）さん（菖蒲コミ協）
○住みよいふるさとをつくる活動
福田　守立（ふくだ　もりはる）さん（鷲宮コミ協）
堀　光廣（ほり　みつひろ）さん（鷲宮コミ協）

団体表彰
○住みよいふるさとをつくる活動
砂原小学校親児（おやじ）の会（鷲宮コミ協）

久喜市公式 LINEスタンプ発売中！

問 シティセールス課広報広聴係（内線2253）



二次元コードから購入ページへ！▶

NHK-FM 公開収録「吹奏楽のひびき」観覧者募集

観覧無料

日 2月7日㈯ 16時～ 18時
場 コミフ・ドリームホール KUKI（久喜総合文化会館）
出演　指揮：横山（よこやま）奏（かなで）
　　演奏：シエナ・ウインド・オーケストラ
定 約1,000人（超えた場合は抽選）
申 1月12日㈪までに、NHKサイトの申込フォームから申し込み
※未就学児の観覧・同伴不可
※詳細はNHKさいたま放送局ホームページをご覧ください。
問 NHKさいたま放送局 ☎048-833-2041
（平日10時～ 12時／ 13時～ 17時）
企画政策課企画政策係（内線2283）


©平舘平


©kenji Shimizu

連載　久喜歴史だより（第179回）

豊臣（とよとみ）・木下（きのした）家との関係を伝える 甘棠院（かんとういん）の釈迦三尊像（しゃかさんぞんぞう）


甘棠院の釈迦三尊像

本町七丁目の甘棠院は、古河公方（こがくぼう）足利政氏の菩提寺として創建された臨済宗の寺院で、中世以降の貴重な文化財の数々を今日に伝えています。足利氏との関係の深い甘棠院ですが、豊臣秀吉やその流れをくむ江戸時代の木下家との関係を伝える文化財もあります。

その一つが、甘棠院の本尊仏である釈迦三尊像です。左手に蓮華を持ち、右手は人々の怖れを取り除いて救うことを意味する施無畏印（せむいいん）を結んだ木造の釈迦如来（しゃかにょらい）坐像を中央に、その左右に釈迦の弟子である迦葉尊者（かしょうそんじゃ）像と阿難尊者（あなんそんじゃ）像を配置し、同時代に制作されたものとみられる厨子（ずし）に収められています。甘棠院の記録には、延宝元年（1673）から延宝８年（1680）の間に旗本の木下利次（きのしたとしつぐ）（1607～1689）が、甘棠院の寺院の規模に見合う立派な本尊仏としてこれらの仏像を新造し寄進したことが記されています。

この釈迦三尊像を寄進した木下利次は、高台院（豊臣秀吉の正室）の兄の孫で、実子のなかった高台院の養子として育てられた人物です。高台院は、実名が「おね」または「ねね」で、「北政所」と称されたことが知られています。大坂夏の陣で豊臣家が滅亡した後の元和元年（1615）に、高台院は徳川家康と対面し、利次を自身の養子にすることを願い出たといいます。寛永元年（1624）に高台院の最期を看取った利次は、その遺領の一部を継承する形で江戸幕府から三千石の旗本として取り立てられ、幕末まで続く旗本木下家の基礎を築きました。

利次が甘棠院と関係するようになった経緯は不明ですが、当時の甘棠院は、戦国時代の戦乱で荒廃した境内を復興する時期にあたり、その趣旨に賛同しての本尊仏の寄進だったものとみられます。また、利次は、自身の子を甘棠院住職の弟子として出家させており、甘棠院への信仰の厚さをうかがい知ることができます。

問 郷土資料館（57・1200）

市長コラム Mayor's Column

ネーミングライツが好調です

公共施設等の命名権を活用し、市の自主財源を確保する「ネーミングライツ」事業。この度、東鷲宮駅立体通路の命名権をホームタウンエナジー社が取得してくださいました。（年額 35 万２千円、３年契約）

厳しい財政状況の中、既存事業の見直しだけでなく「収入を増やす」工夫も欠かせません。さらなる自主財源の確保を進めます！

生ごみを「ギュッ」と絞ろうキャンペーン

12 月から新ごみ処理施設の試運転が開始され、久喜市はごみの焼却熱を活用して発電する「サーマルリサイクル」に挑戦します。そこで大切になるのがごみの成分です。

一般的に可燃ごみの約４割が生ごみであり、生ごみの約７割は水分と言われています。つまり、膨大な運搬コストとエネルギーを使って、水を燃やしている状態なのです。

今後は、ごみの水分量が発電効率にも影響します。地球環境と発電効率、そして久喜市の財政のためにも、生ごみを捨てる前のひと絞りにご協力をお願いします。